



大佐倉・飯田地区探索 (令和4年6月)



佐倉路地裏探検隊



1. 大佐倉(おおざくら) ;

印旛沼南岸の低平地及び丘陵地上に位置する

【近世】大佐倉村；江戸期～明治22年の村名。下総国印旛郡のうち。佐倉藩領

村高は「元禄郷帳」528石、「天保郷帳」「旧領旧高」とともに537石余。なお、「旧高旧領」では八幡神社除地・勝胤寺がそれぞれ20石あり、天正19年(1591)に賜った朱印地である。当村の反別石高は田36町余・畑21町余。安政4年(1857)「領分村高帳」によれば、石高120石余が諸役御免となってい

る。小物成として夫役永1貫105文余・茶園栗代永250文・山銭鏝921文・草銭鏝526文。浜宿河岸があり、佐倉城主所替の折御用荷物積場となった。同河岸は印旛沼岸交通の要所で、幕末には水戸天狗党侵入を防ぐ見張り番が置かれた。将門御林は文久年間(1861～1863)に一部武家屋敷地になった。神社は口之宮神社・八幡神社等。寺院は直言宗宝珠院、曹洞宗勝胤寺。なお佐倉藩主堀田正亮は宝暦2年(1752)の惣五郎百年忌に、惣五

【近代】大佐倉；明治22年～現在の大字名

はじめ内郷村、昭和12年佐倉町、同29年からは佐倉市の大字。明治24年戸数85・人口433・馬547・舟50。大正15年京成電気軌道 大佐倉駅開業。昭和54年世帯数173・人口693

2. 飯田；印旛沼南岸の干拓地と丘陵地に位置する

【近世】飯田村；江戸期～明治22年の村名。下総国印旛郡のうち。佐倉藩領

村高は「元禄郷帳」451石余、「天保郷帳」「旧高旧領」共に486石余。天明6年(1786)年貢免状によれば、反別田41町9反余・畑33町2反余・屋敷1町余・新畑7町4反余・林畑1町・口米とも取米102石余・口永とも取永986文余、小物成として夫役永1貫312文余・山銭鏝4貫496文・野銭鏝100文、茶園栗

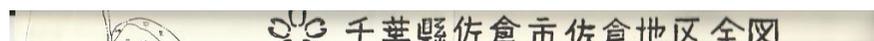
代永237文がある。安政2年(1855)家数59、馬25。佐倉藩主の幕府への献上品によれば飯田の大根があった。天明年間(1781～1788)に造醤油屋、嘉永3年(1850)に質屋、同6年(1853)に真木(まき・イヌマキの意)木材商がそれぞれ開業。佐倉城外武家屋敷の畑地を小作する者や下肥

【近代】飯田；明治22年～現在の大字名。はじめ内郷村、昭和12年佐倉町、同29年佐倉市の大字

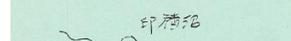
明治24年の戸数75・人口425・馬50・舟44，昭和49年の世帯数102・人口495



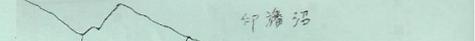
3. 大字・小字マップ；

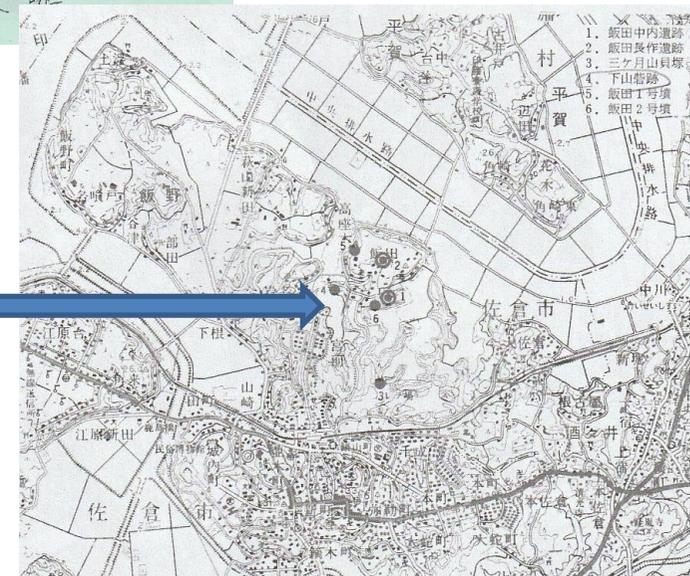
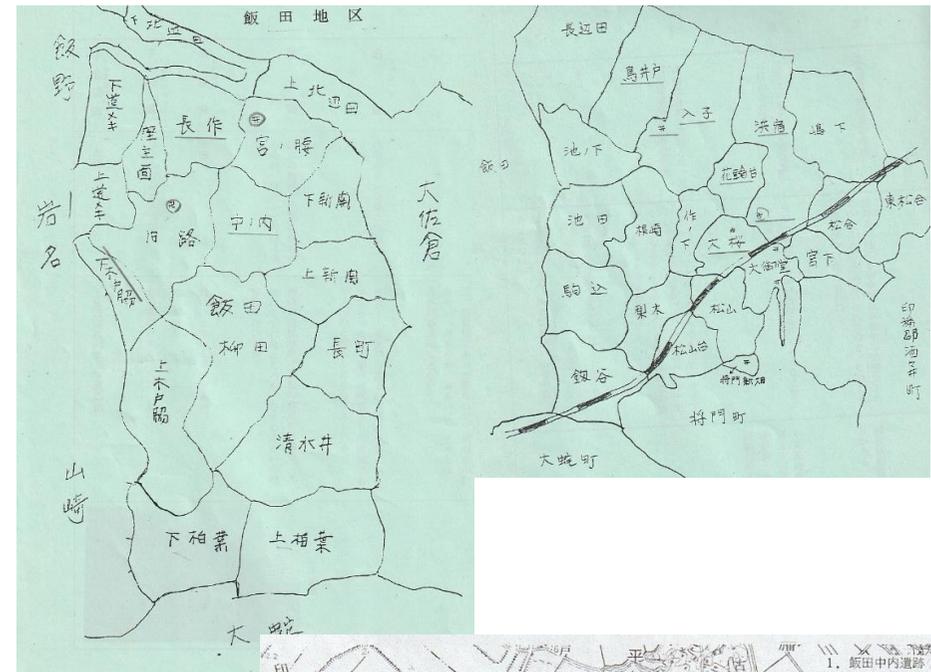
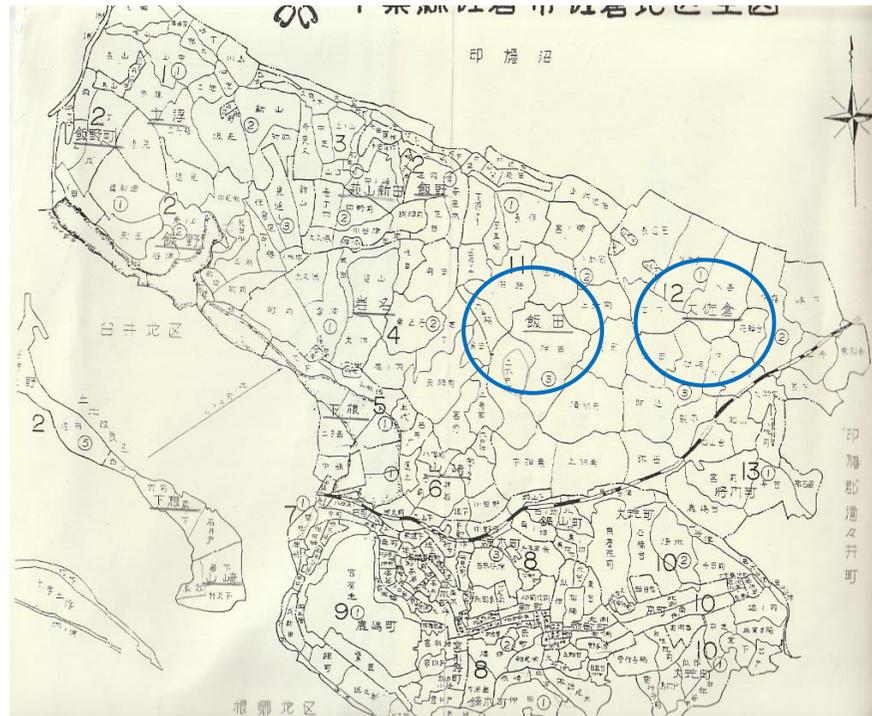


飯田地区小字地図



大佐倉地区小字地図



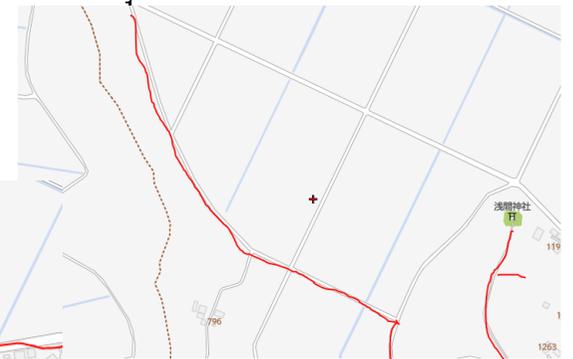


下山砦は、岩名姿山城（岩名運動場内）の約700m東、慈眼寺の一本先の舌状岬台地上にあります。本佐倉城の支城若しくは支城の姿山城の出城か？幹線道路際には江戸初期の慈眼寺関係の僧職の墓石があります。このあたりが虎口と推定されます



4. 散策マップ1





全図



4



3

2

4. 散策マップ2



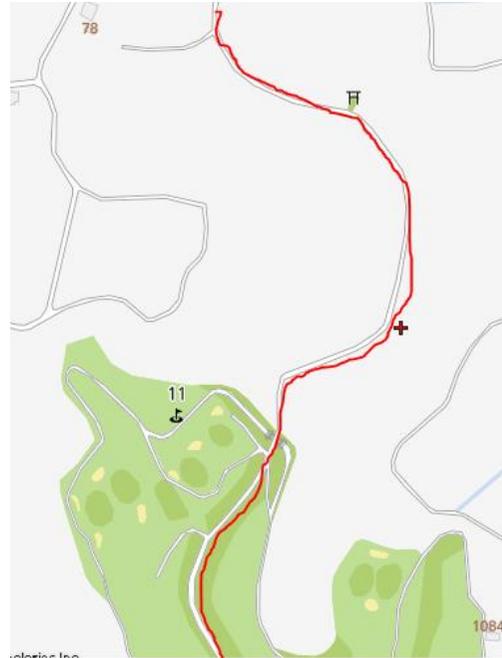
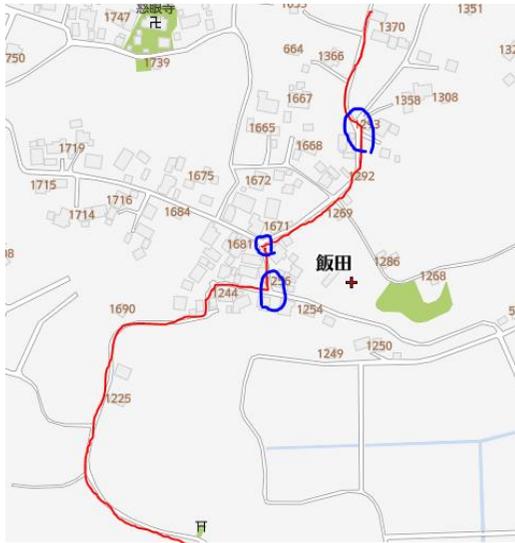
5

4



6

7



9



10

8

5

5. 中印組十善講 (寶珠院と佐倉十善国社中印組との関係。1番札所が寶珠院)

佐倉六崎組十善講

佐倉十善護国社中印藩組 ("中印組"と略称。現在休講中)

佐倉八十八ヶ所 一覽表 ① (注:赤字の寺社は、護国社)					佐倉八十八ヶ所 一覽表 ② (注:赤字の寺社は、護国社)						
札番号	札所名	宗派	本郷	所在地	備考	札番号	札所名	宗派	本郷	所在地	備考
第1番	寶珠院	真言宗	大日如來	佐倉市 六崎 791	31番を併設	第45番	正光寺	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 野田 400-1	60番を併設
第2番	玉蔵院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 神門 532		第46番	北光堂	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 成山 59	
第3番	天福院	真言宗	大日如來	佐倉市 大龍塚 782		第47番	聖堂	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 生吾	
第4番	天福院	真言宗	大日如來	佐倉市 小龍塚 570		第48番	日井	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 田井 1226	
第5番	天福院	真言宗	大日如來	佐倉市 木野子 278		第49番	石川	真言宗	不動明王	佐倉市 石川 138	9番を併設
第6番	天福院	真言宗	大日如來	佐倉市 上野原 175		第50番	小松木	真言宗	不動明王	佐倉市 小松木内庭	
第7番	天福院	真言宗	不動明王	佐倉市 太田 1457		第51番	羽鳥	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 羽鳥 1044	
第8番	天福院	真言宗	大日如來	佐倉市 蓮勢 172		第52番	大内	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 高道大内 670	大願堂なし
第9番	天福院	真言宗	十一面觀世音菩薩	佐倉市 石川 154	48番を併設	第53番	羽鳥	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 羽鳥 1017	
第10番	天福院	真言宗	浄土宗	佐倉市 城 472		第54番	馬渡	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 馬渡 889	24番を併設
第11番	天福院	真言宗	美阿加美	佐倉市 高崎 654	39番を併設	第55番	蓮勢	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 蓮勢 286	34番を併設
第12番	天福院	真言宗	延命地藏菩薩	佐倉市 下野田 285		第56番	六崎	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 六崎 1075	
第13番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 寒風 128	27番を併設	第57番	三島福前	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 三島 55-1	
第14番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 寺崎 2990		第58番	藤本町	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 藤本町 55-1	
第15番	天福院	真言宗	地藏菩薩	佐倉市 天辺 180		第59番	和野	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 和野 中台	
第16番	天福院	真言宗	浄土宗	佐倉市 宮本 219		第60番	長岡	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 長岡 73	45番を併設
第17番	天福院	真言宗	美阿加美	佐倉市 鎌本町 1-641		第61番	鎌本	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 鎌本町 507	
第18番	天福院	真言宗	美阿加美	佐倉市 鎌本町 1-422		第62番	江原	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 江原 782	41番を併設
第19番	天福院	真言宗	浄土宗	佐倉市 井戸 216		第63番	江原	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 江原稲田 88	26番を併設
第20番	天福院	真言宗	金剛大日如來	佐倉市 八木 216	24番を併設	第64番	藤原	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 藤原 524	65, 62, 74, 84番を併設
第21番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第65番	藤原	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 藤原	
第22番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 太田 1741	86番を併設	第66番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第23番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第67番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第24番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第68番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第25番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第69番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第26番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第70番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第27番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第71番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第28番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第72番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第29番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第73番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第30番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第74番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第31番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第75番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第32番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第76番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第33番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第77番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第34番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第78番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第35番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第79番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第36番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第80番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第37番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第81番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第38番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第82番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第39番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第83番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第40番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第84番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第41番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第85番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第42番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第86番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第43番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第87番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	
第44番	天福院	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 真流 474	86番を併設	第88番	山梨	真言宗	阿彌陀如來	佐倉市 山梨 479	

1番 寶珠院

文政享和の奉還禮四国霊場増生印施写霊場 (1818~1830)

札所番号	所在地	現市町村	寺院名	元霊場地	寺院名
第一番	大佐倉村	佐倉市	寶珠院	阿波国	靈山寺
第二番	大佐倉村	佐倉市	花蔵院	阿波国	極楽寺
第三番	大佐倉村	佐倉市	勝胤寺	阿波国	金泉寺
第四番	浜宿	佐倉市	正覚院	阿波国	黒谷寺
第五番	大佐倉村	佐倉市	地藏堂	阿波国	地藏寺
第六番	岩名村	佐倉市	玉泉寺	阿波国	安楽寺
第七番	土浮村	佐倉市	宝鏡院	阿波国	十楽寺
第八番	立沢村	富里市	観照院	阿波国	熊谷寺
第九番	高座木村	佐倉市	常安寺	阿波国	法輪寺
第十番	下根村	佐倉市	観音堂	阿波国	切幡寺
第十一番	高座木村	佐倉市	玉院	阿波国	藤井寺
第十二番	江井須村	成田市	勝蔵院	阿波国	焼山寺
第十三番	上岩橋村	酒々井町	長福寺	阿波国	大日寺
第十四番	中川村	酒々井町	西蔵院	阿波国	常楽寺
第十五番	上岩橋村	酒々井町	東徳院	阿波国	国分寺
第十六番	飯野村	佐倉市	境徳寺	阿波国	観音寺
第十七番	土浮村	佐倉市	正福寺	阿波国	井土寺
第十八番	中沢村	富里市	常福寺	阿波国	恩山寺
第十九番	萩山村	佐倉市	地藏庵	阿波国	立江寺
第二十番	山崎村	佐倉市	隆祥寺	阿波国	鶴(鶴)林寺
第二十一番	柏木村	酒々井町	真光寺	阿波国	大龍寺
第二十二番	下岩橋村	酒々井町	大仏頂寺	阿波国	平等寺
第二十三番	舟形村	成田市	薬師寺	阿波国	薬王寺
第二十四番	松崎村	成田市	虚空蔵	土佐国	東寺
第二十五番	台方村	成田市	超林寺	土佐国	津照寺
第二十六番	台方村	成田市	北ノ堂	土佐国	西寺
第二十七番	北須賀村	成田市	宿の堂	土佐国	神峯寺
第二十八番	八代村	成田市	善勝院	土佐国	大日寺
第二十九番	中沢村	富里市	昌福寺	土佐国	国分寺
第三十番	下方村	成田市	西光寺	土佐国	一の宮
第三十一番	五良	酒々井町	文殊寺	土佐国	五台山竹林寺
第三十二番	上勝田村	佐倉市	太子堂	土佐国	禅師峯寺
第三十三番	山口村	成田市	地藏堂	土佐国	高福寺
第三十四番	日吉倉村	富里市	円勝寺	土佐国	種間寺
第三十五番	日吉倉村	富里市	薬師堂	土佐国	清滝寺
第三十六番	公津新田	成田市	円応寺	土佐国	青龍寺
第三十七番	八代村	成田市	六角堂	土佐国	五社
第三十八番	松崎村	成田市	善導大師	土佐国	金剛福寺
第三十九番	久米村	成田市	薬師寺	土佐国	寺山
第四十番	山口村	成田市	観音堂	伊予国	観自在寺
第四十一番	松崎新田	成田市	稲荷宮	伊予国	稲荷社
第四十二番	西吉倉村	成田市	大日堂	伊予国	仏木寺
第四十三番	下金山村	成田市	竜金寺	伊予国	明石寺
第四十四番	東吉倉村	成田市	観音堂	伊予国	菅生山
第四十五番	舟形村	成田市	明王寺	伊予国	岩屋寺

中印組リストは「会誌郷土八街」臨時号「十善講ご詠歌」によります。特徴は一番札所が大佐倉の寶珠院です。堂寺住職のお話では結願寺の88番札所も寶珠院とお話されましたが、実際は宗吾参堂の東勝寺でした。この十善講は範囲が大きく印西十善講、相馬十善講等多くの十善講の中で分裂、統合等繰り返し、時には活動は消極的になり中断した講も多くあります。右下写真は宗吾参堂(東勝寺)です



奉還禮四国霊場増生印旛写霊場

第四十六番	根古名村	富里市	常光寺	伊予国	浄瑠璃寺
第四十七番	大竹村	成田市	円光寺	伊予国	八坂寺
第四十八番	馬場村	成田市	慈眼寺	伊予国	西林寺
第四十九番	東金山村	成田市	地藏院	伊予国	淨土寺
第五十番	吉岡新田	大栄町	大師堂	伊予国	繁多寺
第五十一番	関戸村	成田市	延寿院	伊予国	石本寺
第五十二番	東和田村	成田市	長光寺	伊予国	大山寺
第五十三番	大竹村	成田市	威光院	伊予国	円明寺
第五十四番	土屋村	成田市	大聖院	伊予国	延命寺
第五十五番	郷部村	成田市	神光寺	伊予国	別宮
第五十六番	駒井野村	成田市	宝蔵寺	伊予国	泰山寺
第五十七番	堀内村	成田市	西福寺	伊予国	八幡宮
第五十八番	寺台村	成田市	永興寺	伊予国	佐裕山
第五十九番	赤萩村	成田市	普福寺	伊予国	国分寺
第六十番	長田村	成田市	寶珠院	伊予国	横峯寺
第六十一番	一畝田村	成田市	明福寺	伊予国	香苑寺
第六十二番	尾上村	酒々井町	正福院	伊予国	一の宮
第六十三番	御座那	酒々井町	吉祥寺	伊予国	吉祥寺
第六十四番	郷部村	成田市	弥陀堂	伊予国	黒前禪寺
第六十五番	北須賀村	成田市	西の堂	讃岐国	三角寺
第六十六番	中沢村	富里市	自性院	讃岐国	雲辺寺
第六十七番	畑田村	成田市	医王院	讃岐国	小松尾寺
第六十八番	新橋村	酒々井町	観音堂	讃岐国	琴弾八幡
第六十九番	飯田村	佐倉市	慈眼寺	讃岐国	観音寺
第七十番	野毛平村	成田市	馬頭観音	讃岐国	本山寺
第七十一番	中沢村	富里市	見星院	讃岐国	弥谷寺
第七十二番	大和村	富里市	新勝院	讃岐国	愛茶羅寺
第七十三番	台方村	成田市	釈迦堂	讃岐国	釈迦寺
第七十四番	高松村	八街市	普門寺	讃岐国	甲山寺
第七十五番	和田村	佐倉市	真福寺	讃岐国	普通寺
第七十六番	取香村	成田市	円勝寺	讃岐国	金倉寺
第七十七番	駒井野村	成田市	東光院	讃岐国	道隆寺
第七十八番	高野村	富里市	聖徳寺	讃岐国	道場寺
第七十九番	北須賀村	成田市	正徳寺	讃岐国	守徳天王
第八十番	伊藤村	成田市	松雲寺	讃岐国	国分寺
第八十一番	飯仲村	成田市	普門院	讃岐国	白峯寺
第八十二番	新橋村	酒々井町	新樂院	讃岐国	根香寺
第八十三番	壘村	八街市	泉光院	讃岐国	一の宮
第八十四番	酒々井町	酒々井町	勝蔵院	讃岐国	庵崎寺
第八十五番	酒々井町	酒々井町	東光寺	讃岐国	八栗寺
第八十六番	根古名村	富里市	第六天	讃岐国	志度寺
第八十七番	松崎村	成田市	米迎寺	讃岐国	長尾寺
第八十八番	下方村	成田市	東勝寺	讃岐国	大塚寺



88番 中印組東勝寺(宗吾参堂)



奉還禮四国霊場増生印旛写霊場

追加	下岩橋村	酒々井町	太子堂	伊予国	上聖村太子堂
追加	北須賀村	成田市	和道祖神	伊予国	中村観音堂
追加	北須賀村	成田市	大地蔵	阿波国	高善根村太子
追加	大竹村	成田市	円光寺	高野山結ぶ庵の	
追加	大竹村	成田市	観行院	伊予国	横堂薬師
追加	上福田村	成田市	福寿院	阿波国	月頂山慈眼寺
追加	松崎村	成田市	観音堂	土佐国	權寺峯寺慈眼寺
追加	松崎村	成田市	親善堂	阿波国	灌頂流不動
追加	松崎村	成田市	山王社地	伊予国	住吉大明神
追加	山口村	成田市	薬師堂	伊予国	道後村憑元玉
追加	山口村	成田市	観明院	伊予国	湯堂薬師
追加	日吉倉村	富里市	弥勒堂	阿波国	正安寺
追加	寺台村	成田市	光明院	伊予国	二明村大師堂
追加	大山村	成田市	弥陀堂	伊予国	若宮村大師堂
追加	東金山村	成田市	井戸庵	伊予国	野井観音堂
追加	東金山村	成田市	弥陀堂	伊予国	八幡宮
追加	赤萩村	成田市	薬師堂	土佐国	及江寺
追加	赤萩村	成田市	吉祥院	讃岐国	大見村太子堂
追加	小泉村	成田市	長泉寺	伊予国	大石白王権現
追加	長田村	成田市	北ノ堂	伊予国	成江村観音堂
追加	一畝田村	成田市	福泉寺	伊予国	梅津村薬師堂
追加	壘田村	成田市	薬王寺	讃岐国	八栗寺
追加	壘田村	成田市	吉祥院	讃岐国	圓崎寺
追加	住母家村	成田市	延命院	讃岐国	志度寺
追加	加茂村	成田市	普賢院	讃岐国	長尾寺
追加	白萩村	成田市	明王院	阿波国	長福寺
追加	淺川	成田市	寶珠院	伊予国	川登村阿弥陀
追加	岩山村	成田市	四社明神	讃岐国	伊勢林村太神
追加	岩山村	成田市	千養院	讃岐国	崇徳院旧跡
追加	朝倉村	成田市	弁天山	伊予国	佐野村清色寺
追加	五十石新田	成田市	大師堂	伊予国	巻川村大師堂
追加	大和村	富里市	弥陀堂	阿波国	免許村大師堂
追加	根古名本村	富里市	大六天	阿波国	就宮如意輪観
追加	高野村	富里市	地藏堂	土佐国	尾形村賽河原
追加	立沢村	富里市	道祖神	伊予国	上田戸村三嶋
追加	立沢村	富里市	観音堂	阿波国	稲村観音堂
追加	中沢村	富里市	鎮守社	伊予国	不二山
追加	中沢村	富里市	小谷坂	伊予国	成江村大師堂
追加	新橋村	酒々井町	宝性寺	土佐国	南林寺地蔵堂
追加	尾上村	酒々井町	観音堂	伊予国	宇和島保安寺
追加	尾上村	酒々井町	馬頭観音	伊予国	小林村観音堂
追加	台方村	成田市	道祖神	伊予国	西明神村太子
追加	酒々井町	酒々井町	円福寺	伊予国	宝原村阿弥陀
追加				土佐国	田ノ浦太子堂
追加	高岡村	佐倉市	宝寿院	伊予国	猿野川薬師堂
追加	本町	佐倉市	浄泉寺	土佐国	青龍寺ノ蓮那
追加	弥勒町	佐倉市	松林寺	土佐国	月山

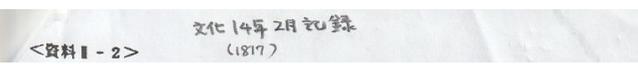
奉還禮四国霊場増生印旛写霊場

番外	土浮村	佐倉市	鎮守社	讃岐国	白鳥大明神
番外	岩名村	佐倉市	毘沙門堂	伊予国	瑠璃山
番外	八木野村	成田市	地藏堂	阿波国	大明神
番外	伊藤村	酒々井町	円通寺	土佐国	千光寺
番外	公津村	成田市	惣春塚	伊予国	奥前神寺
番外	下方村	成田市	普門寺	讃岐国	洲崎寺
番外	舟形村	成田市	東永院	伊予国	臼井山
番外	八代村	成田市	宅宝院	讃岐国	象頭山
番外	大竹村	成田市	弥陀堂	讃岐国	法然寺
番外	大竹村	成田市	地藏堂	伊予国	正善寺
番外	大竹村	成田市	観音堂	阿波国	光明庵
番外	松崎村	成田市	太子堂	土佐国	真念庵
番外	松崎村	成田市	福寿院	伊予国	靈林山寿松庵
番外	山口村	成田市	観明院	伊予国	八幡宮
番外	川栗村	富里市	慈眼寺	伊予国	願成寺
番外	西吉倉村	富里市	多門院	伊予国	熊野大権現
番外	東和田村	富里市	圓慶堂	伊予国	湯南村地藏堂
番外	野毛平村	成田市	神光寺	阿波国	逢坂行基堂
番外	小泉村	成田市	自性院	伊予国	義安禪寺
番外	堀内村	成田市	地藏堂	讃岐国	遍照院
番外	堀内村	成田市	梅月庵	讃岐国	仏母院
番外	梅月庵	成田市	阿波国土	母川大師加持	
番外	吉岡新田	成田市	遍照庵	伊予国	仙龍寺
番外	飯笹村	成田市	弥勒院	土佐国	岩井森地藏寺
番外	飯笹村	成田市	伊予国	多門院	遍照庵
番外	飯笹村	成田市	不動院	伊予国	岩淵満願寺
番外	門倉村	成田市	自性院	阿波国	遍照寺
番外	壘田村	成田市	龍泉院	阿波国	開持法雲殿
番外	取香村	成田市	鎮守社	土佐国	高加茂大明神
番外	駒井野村	成田市	薬師堂	伊予国	牛頭天王
番外	大佐倉村	佐倉市	将門山	土佐国	鳴無大明神
番外	飯積村	酒々井町	泉福寺	讃岐国	海岸寺
番外	尾上村	酒々井町	延命院	阿波国	熊野大権現
番外	古沢村	成田市	弥陀堂	土佐国	薬師寺
番外	壘村	八街市	東伝院	土佐国	南勝寺
番外	馬橋村	酒々井町	相持院	阿波国	柳木庵
番外	上代村	佐倉市	観音堂	阿波国	妙星寺
番外	大蛇村	佐倉市	遍蔵院	土佐国	北斗庵
番外	本佐倉町	酒々井町	清光寺	讃岐国	徳山山東照宮
追加	大佐倉村	佐倉市	勝胤寺院内	阿波国	恩山寺拜所
追加	大佐倉村	佐倉市	住善寺	土佐国	行違崎不動堂
追加	新堀	酒々井町	遍祖神	讃岐国	田村大明神

※追加・番外(掛番)も佐倉市関係寺院があります



6. 成田組十善護国講社 ("成田組" 佐倉組十善護国社成田組が正式名称)



注意；文化14年(1817)時では、1番札所を成田市大和田龍安寺で、成

六十三番 見沙門 福田 阿弥陀堂

(番号)	(本尊)	(札所)						
一	番	釈迦	大和田	竜安寺	三十二番	十一面観音	高岡	観音寺
二	番	阿弥陀	堀川	満福寺	三十三番	阿弥陀	荒海	薬師堂
三	番	不動	飯岡	永福寺	三十四番	薬師	宝田	祥光寺
四	番	新妻	花(?)蔵院	三十五番	薬師	高	祥光寺	観照院
五	番	地蔵	幡谷	円明寺	三十六番	不動	成田山	新勝寺
六	番	薬師	幡谷	東光寺	三十七番	聖観音	高	地藏堂
七	番	阿弥陀	高倉	蔵蔵院	三十八番	子ノ将神	名古屋	乗願寺
八	番	十一面	金江津中郷	大日堂	三十九番	薬師	磯部	医王院
九	番	不動	金江津上組	仙天堂	四十番	大覚世尊	大沼	東光院
十	番	十一面観音	新川	阿弥陀堂	四十一番	稻荷神社	高岡	地藏堂
十一	番	薬師	源田	薬師堂	四十二番	不動	(金江津成蔵院ヨリ移ス)	
十二	番	虚空蔵	西大須賀	昌福寺	四十三番	不動	片巻	[空白]寺
十三	番	幡	平川	鎮守社	四十四番	阿弥陀	浦向	金比羅山
十四	番	地蔵	余津谷	地藏堂	四十五番	阿弥陀	小野	東福寺
十五	番	阿弥陀	高岡	薬師堂	四十六番	阿弥陀	下加納新田	阿弥陀堂
十六	番	十一面観音	源田	観音堂	四十六番	阿弥陀	成田	阿弥陀堂
十七	番	薬師	平川	漢頂院	四十七番	三仏如来	(白バツケへ移ス)	
十八	番	阿弥陀	下福田	正福寺	四十八番	不動	市崎	延命寺
十九	番	地蔵	滑川新宿	竜正院	四十九番	釈迦	松崎	新光寺
二十	番	地蔵	成田	延命院	五十番	薬師	清久嶋	天神社
二十一	番	竹内神社	小松	照泉寺	五十一番	不動	椎塚新田	大日堂
二十二	番	釈迦	成田	薬師堂	五十二番	薬師	橋向	橋向寺
二十三	番	薬師	土屋	薬王寺	五十三番	阿弥陀	安西	就光寺
二十四	番	虚空蔵	東和田	養泉寺	五十四番	不動	(土屋ヨリ移ス)	
二十五	番	地蔵	椎塚新田	鎮守社	五十四番	不動	西和泉	不動堂
二十六	番	阿弥陀	西和泉	浄光寺	五十五番	阿弥陀	幸田	真福寺
二十七	番	不動	羽鳥	観音寺	五十六番	地蔵	桑山新田	地藏堂
二十八	番	大日	名木	城福寺	五十七番	阿弥陀	半田	医王院
二十九	番	聖観音	成田	大野屋前	五十八番	馬頭観音	海老川	無量院
三十	番	不動	押畑	真福寺	五十九番	薬師	中余津谷	永福寺
三十一	番	天満神社	(大沼ヨリ移ス)	阿弥陀堂	六十番	不動	北羽鳥	常進寺
			小浮橋		六十一番	大日	金江津	鎮守社
					六十二番	白山神社	脇川	栄照院

六十四番	阿弥陀	町田	正光寺
六十五番	十一面観音	冬父	近勝寺
六十六番	大日	清水新田	天神社
六十七番	薬師	親妻	観音堂
六十八番	聖観音	神宮寺	観音堂
六十九番	正観音	野馬込	如来堂
七十番	馬頭観音	中里	楽満寺
七十一番	阿弥陀	金江津	阿弥陀堂
七十二番	大日	大和田	瑞光寺
七十三番	地蔵	滑川	釜地藏
七十四番	薬師	荒海	阿弥陀堂
七十五番	薬師	小浮	観音寺
七十六番	不動	宝田	地藏堂
七十七番	聖観音	源田	行蔵院
七十八番	阿弥陀	土屋	地福寺
七十九番	阿弥陀	芦田	安養寺
八十番	毘沙門	金江津	地藏堂
八十一番	千手観音	神崎	一切経寺
八十二番	阿弥陀	清水	清光寺
八十三番	諏訪観音	矢口	一ノ宮
八十四番	地蔵	大生	長永寺
八十五番	不動	金江津上	如来寺
八十六番	正観音	高	延寿院
八十七番	將軍地藏	十三間戸	西福院
八十八番	薬師	十三間戸	西福院

山は36番札所になっております。成田山新勝寺を本部としておりますが。佐倉十善講は六崎組、成田組と中印組の分裂しました。これ各十善講の霊場範囲が微妙に異なっています。

- ① 成田組；成田市、旧下総町(現成田市)、神崎町、榮町他
- ② 中印組；佐倉市、酒々井町、成田市、富里市、大栄町、八街市他
- ③ 六崎組；佐倉市、四街道市、千葉市、酒々井町等です



成田市竜安寺と大師堂

88番結願寺の稲敷郡河内町十三間戸の西福院

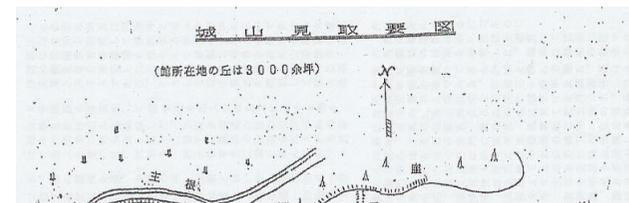


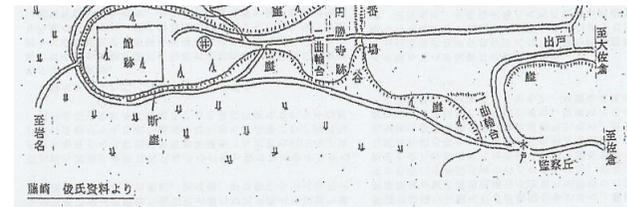
7. 花輪台砦と浪人屋敷



印旛沼方向

浜宿の集落





下山砦と廃寺の円勝寺

飯田 下山砦

慈眼寺



虎口と慈眼寺僧侶墓

墓石に次のような刻字がありました（完全に読み切れませんが）

寛延二(1749)己巳天

梵字 権大都法印有元

八月初旬六日

用地は元々慈眼寺のもの。慈眼寺の僧若しくは廃寺円勝寺の僧の墓石でしょうか？

地区スポット説明

1	2	3	4
<p>大佐倉駅</p>	<p>坂(仮称 大桜坂)</p>	<p>ヤワタ ジンジャ 八幡神社</p>	<p>花輪台遺跡と花輪台3号墳</p>
			
<p>いつもながら乗降客は京成線で一番少ないです。周囲の住宅整備で住民増は余り期待できない為ですが、朝は上下線ともお勤めの方や通学の学生さんをみかけます。余り目つきませんが、社員2名は常駐されています。何らかの重要なお仕事をされておられるでしょう</p> 	<p>驛から成田方面に進み左側に細い坂があります。台地上の花輪台に上る坂です。小字名が「大桜」です。約5度、50m程です。やや薄い暗い坂です。徒歩、自転車のみが利用出来る小さな坂です</p> 	<p>八幡神社の神輿蔵と兼務の建物です</p>   <p>昭和54年造立の御神輿蔵再建記念碑</p>	<p>花輪台全体(台地上全体が遺跡)が大佐倉花輪台遺跡であちこちでカワラケを見られます。又八幡神社裏側には帆立型の常陸型前方後円墳で全長34m・後円部約30mで6世紀後半のものです。箱式石棺。この型式では印旛郡最大。残念ながらこれほどのものでも整地されなくなっています</p>  

5

宝珠院本堂



6

大師堂



7

鐘楼



8

宝珠院境内の社の中は？



創建年代等不詳。永徳3年(1383)尊宥(孫雄)上人が中興。東寺 宝菩提院僧正より最上を頂き、最上宝珠院と称しています。京都東寺菩提院の亮恵僧正が、当寺に永禄元年(1558)下向し、流派を伝授され壇林所になっていました。江戸時代は寺領として20石の朱印状を受領。真言宗の佐倉五山筆頭(他は酒々井町にある。東光寺・大仏頂寺・吉祥寺・文殊院(廃寺の4寺)で、佐倉藩内真言宗寺院12ヶ本寺、120余ヶ門末を擁していた。大佐倉八幡神社の別當持。中印組十善講の1番札所、へ卯性14年から朝7時に鐘が撞かれます。ご本尊は大日如来

兎角この堂を薬師堂、観音堂等とよばれますが、実は大師堂です(住職にも確認)。中印組1番札所です。この十善講は現在休講中です。外の御大師様社は六崎組の物が移されたものと思われる

平成14年から新しい梵鐘を朝7時に打ち始めたとの事。夕方はなし。梵鐘の音色は重く透きとおったものです。他に毎日梵鐘を定時に打っているのは、**上座宝樹院(朝6時)、肴町教安寺(昼12時)と寶珠院の3寺のみ**です。本佐倉の昌柏寺は大昔は毎朝7時に打たれていましたが、現在は年末31日のみ。岩富の長福寺は一時台風で鐘楼が台風で潰れましたが最近再建。鐘撞も定時に打たれ始めたのか確認が必要です。暮の鐘撞は数多く打たれますが、**この定時の3寺の鐘撞の音色をCDに落とし(写真と一緒に)記録し、佐倉市の記録として是非作他市教育委員会文化課、市史編さん室に寄贈いただけませんか!**

境内の4社は、延命地藏、如意輪観音、御大師そしてお薬師様です。紀名札も消えていますので祀られている石造を見ながらお参り下さい。新しい延命地藏尊の石碑の前に蛇が。**これは、ひょっとすると「巳待供養延命地藏尊」の石造??**



9

宝珠院の石仏達



10

坂(仮称宝珠院坂)
カヲユインザカ



11

藤寄家



12

藤寄家の蔵



宝珠院の墓地裏の地藏菩薩、同階段手前の六地藏等石仏が多くあります。かつての壇林所として各地から学びに来た僧たちの学びの堂、寝泊りする堂等境内には多くの建物があつたはず。墓域の小ささも気になる所です。境内はもっと大きかったのでは

本来の花輪台の台地上に上る幹線道路の坂。京成の線路を跨いで宝珠院の前に入る上り坂です。約9度、150m程です

見学不可です。佐倉市登録有形文化財の藤寄家住宅です。江戸時代には名主を務めた旧家です。主屋は大規模な直屋(すごや 平面輪郭で平方面。曲屋と並べられる)。建築年は江戸から明治初期と推測。この住宅は上層農家の屋敷構えをよく残していて、中庭を囲むように主屋と蔵や門が建てられ、優れた一群の景観。伝統的な和風の観教に近代的な羊羹が点描となり、趣のある調和をうみだしている。主屋・洋館・文庫蔵・味噌蔵・表門・米蔵・馬小屋



13

住善寺



宝珠院住職の隠居寺で真言宗智山派寺院。住職も同じです。檀家は宝珠院に比べてすくないのでしょうか。大正～昭和時代開基ではないでしょうか？



14

花輪台(浜宿)砦跡



本佐倉城の出先砦の一つと考えられ、主に印旛沼の監視・出入する舟・人間と物流の監視が主な仕事ではなかったのでしょうか



15

花輪台砦虎口と虎口への道



花輪台砦と台地下の浜宿の集落とを結ぶ入口に虎口があります



16

浜宿河岸への道



印旛沼に架かる河岸の一つです。主に平賀との行き来に利用されたようです。戦国時代からの港で、本佐倉城の玄関口の港。江戸初期に新堀河岸に機能を譲り、間もなく機能復活し、明治頃迄は江戸等間で物資輸送がありました。淡水漁のウナギ・鮒・小魚の水揚げもありました。昭和43年水源開発機構との間で補償契約締結により渡船組合解散しました。埋め立て干拓に伴い昭和30年代にこの河岸も無くなっていました



17

浪人屋敷跡



花輪台砦に関連する場所としてこの浪人屋敷があります。丁度納経施設の裏の竹藪付近と思われます。武家屋敷でなく「浪人屋敷」と称する事が分かりません。素浪人が住んでいたとも謂われていますが



18

藤寄家トマト自動販売所



藤寄家のトマトは甘くて美味しいと成田市～舩橋市迄響き渡り買いに来られるそうです。200円を投入すれば、鍵があいて戸を開けます。ご自宅の裏のビニールハウスから時々補充(意外と頻繁に)自分で欲しい大きさのものを探して購入下さい。JAにお勤めの息子さんが作られた椅子にもお座りください。昔の本来のトマトの味がします。心持酸っぱいですが美味しいです



19

坂(仮称 ^{オオサクラ ザカ} 大佐倉坂)



大佐倉駅近くより幹線道を上り、更に藤寄家のトマト自販機迄下る坂迄約520m程、7度くらいです。佐倉マラソン時はこの坂の上り下りは息切れのする坂です。又道々に応援する方々が固まって応援いただける場所でもあります。車が多いので要注意です



坂(仮称 ^{イッパ サカ} 入子坂)



○印の中に階段上の坂があります。台地(地元で「ハナンダイ」と呼ばれています)下から浅間神社のある舌状の台地の上迄。地元の人がお参りや掃除等に出かける為の坂道です。本来の大佐倉坂經由浅間坂若しくは鳥井戸坂經由では数倍の距離を歩かねばなりません。



21

浅間神社よりの遠望



入子坂を上りきり振りかえった田風景です。境内からの浜宿付近の風景



25

22

大佐倉の浅間神社



浅間さんに多くの付近の方が御参りに来られます。祭神は勿論木花咲耶姫命(コノハナノサクヤヒメ)です。祭礼には境内に露天商が立ち並び賑わったようです。1歳未満を初浅間といい「丈夫に育つように祈願。7才を終浅間と言い丈夫に育ったお礼と今斧健康を祈願



26

23

大佐倉の御室神社



宇多天皇は京都仁和寺で落飾し御室を営んだ。この為仁和寺は御室御所と呼ばれた。関東に知行地があり、それが印東荘(成就寺領)で、その成就寺は京都仁和寺に一塔頭である成就院である事判明。仁和寺は宇多天皇の御願寺。宇多天皇=御室御所=仁和寺=成就院=成就寺=印東荘と繋がっていく。大佐倉はこの時代印東荘と深いつながりがある。御室神社は京都御所より得た名称で大山祇命(おおやまずみのみこと)で山岳の神。この木花咲耶姫命(コノハナノサクヤヒメ)の父にあたる。由緒ある神社ですので、逸話を木札で案内して下さい



27

24

大佐倉の浅間神社



文化11(1811)申歳6月吉日造の丁水

28

トイド ザカ
坂(仮称鳥井戸坂)



小字から名前をつけました。約190m、8度程です。車も人通りも殆どなくのんびりあるけます。時には鳥のさえずりも聞かれるかも？



水田風景



ミヤ コシガカ
坂(仮称宮の腰坂)



小字から仮称を付けました。朝が田神社の前を通り飯野お台地上に出る坂ですが、非常に急な坂です。約12度、185m程です



飯田の麻賀多神社



印旛沼周辺に計18社あり、飯田麻賀多神社もその一つです。成田市台方が本宮です。永禄2年(1559)正一位の神階を受け、明治3年迄正一位麻賀多大明神と称しました。飯田村の村社で、間口1間奥行1間境内870坪ありました。氏子は65戸です(印旛郡誌による)。境内には社日様、蚕神社、出羽三山供養塔、伊勢講・富士講巡拝塔、水神様、水神宮、三峰神社等摂社も祀られています



29

飯田の麻賀多神社



印旛沼近隣に18の麻賀多神社があります。成田市台方の本宮、船形の奥宮他、佐倉市に11社、酒々井町2社、富里市2社、八千代市1社あります。祭神は稚産霊命(わくむすひのかみ)。佐倉市鏑木町の同神社はあくまで佐倉藩の総鎮守に過ぎません



30

飯田の麻賀多神社



出羽三山塚巡拝塔

31

飯田台の畑風景



32

馬頭観音群1



総数15基の馬頭観音gは集められています。飯田台自身は元々開拓された畑地です。な課に1カ所ホルスタインを飼っている農家もありました。飯田地区に散在していた馬頭観音供養塔をこの場所にあつめられたものでしょう。舟型の物が4基、石碑型が3基、残りは文字塔です。刻像のもの造立は寛延2年(1749)、寛保3年(1743)、宝暦6年(1756)そして享保7年(1722)です。江戸中期の像です。飼っていた馬に対する供養が盛んであった事、又この地区では多くの馬が運送用は勿論農作業用に大切に買われていたことが推測されます



33

馬頭観音群2



34

飯田の迷路の町並み1

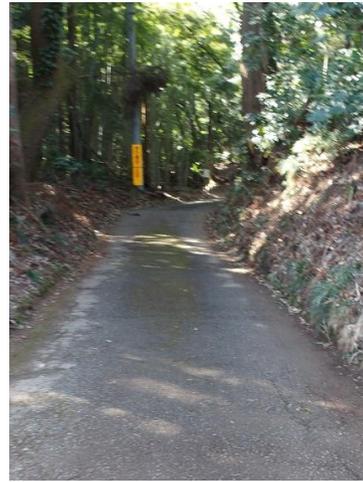


台地上mの飯田地区の道路は迷路の如し。なかなかゴルフ場方面に抜け出せません。実はゴルフ場への道は後からで、本来慈眼寺に下りる2本の道、印旛沼方面に下りる3本の道を中心に住宅整備がされました。畑地を少しづつ住宅地にした為計画的な町割りが出来なかった結果です



35

飯田の迷路の町並み2



36

柳田古墳と庚申塔



正式の神社名は何と言うのだろうか？円墳の上を整地し庚申塔を納めた屋sh宇路がある。庚申神社で良いのだろうか？それとも場違いではあるが道祖神社？



37

柳田古墳と庚申塔



38

飯田の庚申塔1



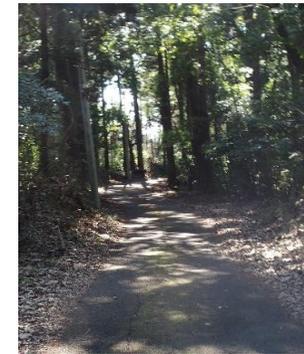
39

オオワシ ジンジャ
大鷲神社



40

ゴルフ場内林道1



この庚申塔は享保11年(1726)10月 飯田村の善男善女により造立されました。秀逸なのは、この庚申塔は日月輪・6臂・2猿・1邪鬼・シヨケラ(女性の首)・2鶏・2童子それと、足元に6体の童子がいます。真中の小さな2童子と左右に2匹ずつ景4匹の1本角のある鬼が(本来なら4夜叉と夜叉を案内する2鬼なのですがこの石仏は逆になっています)

ゴルフ場の中を通る道沿いに大鷲(おおわし)神社があります。通常なら熊手に繋がる福の神さまです。飯田の大鷲神社は高度社前にオビシヤの弓と的が残っており、祠の中には「女御歩射」と書かれた封書が納められていました。石仏には 鷲大明神 天保11年(1840)2月造立です。もう一つの祠は閉められていて神様の名が分かりません

佐倉カントリークラブは京成電鉄グループの会社で、京成佐倉駅に近く且つ昭和51年から会員制コースとなりました。18ホールPar72 6285ヤードの名門コースと謂れていますがいかがでしょうか。そのゴルフ場の中の道は大きな木が両側にあり、日陰と風手ごろな風が吹く為散策には気持ちが良いコースです。人通りが少ないので注意が必要。かつては飯田地区の台地から細い峰道で佐倉の中心街に。勿論ゴルフ場が出来前の話です



41

ゴルフ場内林道2



42

坂(仮称 ^{ヤナギダザカ} 柳田坂)



京成線側の幹道からゴルフ場の倶楽部ハウス前を通り飯田の住宅地方面に行く道の入り口の坂です。小字から仮称名を付けました。約200m、6度程です

43

